

幹線国道改良事業



本事業により整備された国道

[借款概要]

承諾額/実行額	3,515百万円 / 3,011百万円
借款契約調印	1991年3月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2001年5月

[事業概要]

モロベ州ムメン～ワウ区間及びセントラル州リゴ～クウィキラ区間の既存国道を全天候型道路に改良することにより、道路の未舗装など交通手段の立ち遅れを改善し、社会・経済開発を促進するもの。

[評価結果]

本事業により、モロベ州ムメン～ブロロ区間既存道路(37km)の改良が実施された。ただし、その他の道路の改良については工費上昇や内貨予算手当の不足により中止となった。

本事業の結果、道路改良対象であるムメン～ブロロ間の2001年における平均交通量は528台/日となり、当初計画に対して147%の達成率となった。また、同区間の所要時間も1.5～2時間から30～45分程度に短縮された。

行政機関や地域住民へのヒアリングでは、周辺地域の住民の道路交通へのアクセスが向上したことで、行政、保健医療、教育などの公共サービスへのアクセス向上、流通システムの改善、村の商店での商品供給の増加、所得向上といった効果があったとのことである。

なお、事業の持続性の面では、道路のメンテナンスを十分に実施するための実施機関の予算確保が課題となっている。